

I. 平成 24 年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間;平成 20 年 11 月～平成 26 年 3 月(5 年 5 月)

1. 概況

平成 20 年 11 月に認定を受けた米子市中心市街地活性化基本計画は 4 年が経過し、基本計画に盛り込んだ 85 事業の進捗状況は、22 事業が完了、ソフト事業など 45 事業が実施中、ハード事業など 13 事業が整備中、5 事業が未着手となっている。

中心市街地においては、県道車尾大谷町線や県道米子駅陰田線の供用開始、JR 米子駅のバリアフリー化が完了したことにより、交通結節点としての JR 米子駅の機能・環境が改善された。

また、角盤町周辺～四日市町周辺～法勝寺町周辺を頂点とする“にぎわいトライアングルゾーン”において、行政が民間事業者の積極的な取り組みを支援しながら、事業を実施してきた結果、SKYビル、善五郎蔵、ダラズクリエイティブボックスの 3 つのにぎわい拠点施設が同時オープンするとともに、法勝寺町商店街、元町通り商店街ではアーケードを撤去し、下水道整備やコミュニティ道路整備等が完了した。また、これらの動きと平行して高齢者専用賃貸住宅の建設が活発になってきている。さらに、“にぎわいトライアングルゾーン”内の活発な動きや、平成 24 年度開催された国際マンガサミットをきっかけにアニメやマンガといったポップカルチャーのテナントの出店やコンテンツビジネスの動きも出はじめています。

このように、中心市街地活性化基本計画の事業は着実に実施されており、活性化の兆しが見えつつある。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
人が集い賑わうまちをつくる	歩行者通行量(自転車を含む)	20,282 (H19)	21,319	19,175 (H24)	①	①
歴史や文化、自然に触れ合えるまちをつくる	下町観光ガイドの利用者数(年間)	1,380 (H19)	2,070	1,018 (H24)	②	②
	湊山公園の入場者数(1日あたり)	1,373 (H20)	1,510	1,249 (H24)	③	③
住みたくなるまちをつくる	居住人口	12,059 (H19)	12,159	11,179 (H24)	②	②
				参考数値 11,069 (H25)		

- 注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
 ②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
 ③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
 ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
 ⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

①歩行者通行量（自転車を含む）について

「法勝寺町商業環境整備事業（アーケード撤去及び路面等整備）」、「元町通り商業環境整備事業（アーケード撤去及び路面等整備）」の完了、角盤町商店街における「アルファビル再活用事業」等の完了に伴い、周辺商店街との回遊性が高まりつつある。また、行政事業としては、現在工事中である「図書館・美術館整備事業」の完了に伴い、中心市街地エリアの回遊性が高まり、にぎわい創出が図られることから目標達成は可能であると見込まれる。

②下町観光ガイドの利用者数について

「旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業」、「まちの案内看板設置事業」等に取り組んでおり、平成 24 年度は、新たな情報発信手法として、地域のブロガーと中心市街地の見所を巡る「まちなかを巡るモニターツアー」や米子市のホームページからブロガーに中心市街地の情報記事をアップしてもらう「まちなか特派員」といった事業を実施し、下町観光ガイドの利用者の増進につながっており、目標数値は、改善傾向がみられるが、目標達成するには難しい状況であり、今後の更なる対策を講じる必要がある。

③湊山公園の入場者数

主要な事業である「史跡米子城跡整備事業」の着工が遅れているが、平成 24 年度からは、観光客や市民に米子城跡の魅力を更に知ってもらうための取組みとして米子城の探訪、講座・講演会等を実施している。しかしながら、目標指標の計測時点では取組みが実施されたばかりであり、これらの取組みの効果が反映されるまでに至っていない。

今後の対策としては、城跡を活用したソフト事業の実施や情報発信の充実、さらに観光協会等関連機関と連携することにより、目標達成は可能と見込まれるため引き続き最大限努力していく。

④居住人口について

中心市街地においては、民間マンション建設、介護サービス付共同住宅や高齢者専用賃貸住宅の建設、高齢者を対象とした配食、家事代行、日用品の受け渡しのサービスの提供など、まちなかに暮らす高齢者が住みやすい環境づくりを進めているが、減少傾向に歯止めがかかっておらず、目標達成可能とは見込まれない状況となっている。

今後の対策としては、平成 25 年度には新たに「高齢者専用賃貸住宅」が完成するなど、まちなか居住の推進に向けた継続的な動きがあることから、引き続き住みやすい環境づくりに最大限努力する。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

変更なし

5. 今後の対策

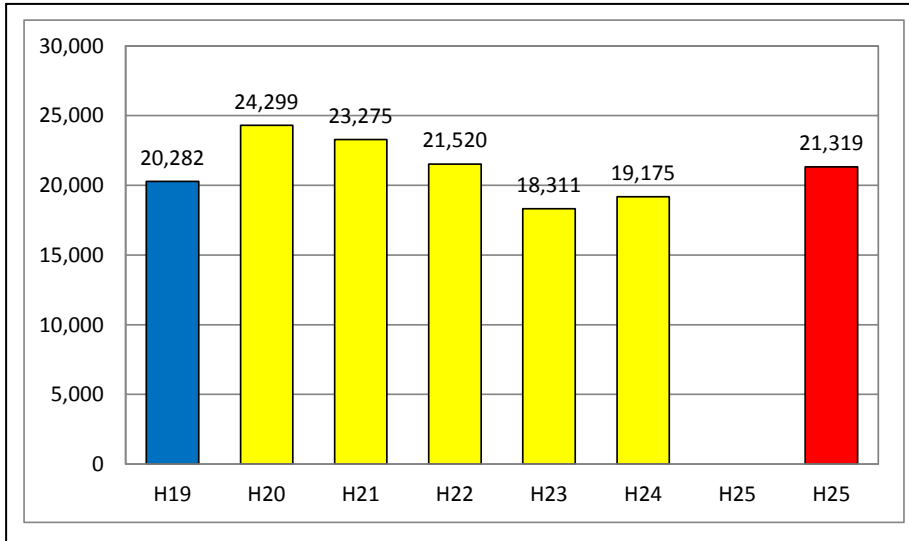
今後、「図書館・美術館整備事業」など都市基盤の整備が完了することで、これら施設の利用促進を図り、相乗効果によるまちなかの回遊性の向上や新たなにぎわいを目指す。

引き続き、官民が連携を図り、中心市街地活性化基本計画に掲げた事業を着実に実施するとともに、成果を検証のうえ課題を整理し、必要に応じて事業内容の見直しや新規事業の検討などの改善策を講じていく。

Ⅱ. 「人が集い賑わうまちをつくる」

「歩行者通行量（自転車含む）」※目標設定の考え方基本計画 P57 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H19	20,282 (基準年値)
H20	24,299
H21	23,275
H22	21,520
H23	18,311
H24	19,175
H25	
H25	21,319 (目標値)

※調査方法：11月の平日、休日の2日間実施。調査地点19地点において、調査時間を10時～16時30分までとし、毎時30分間計測。平日、休日の2日間の合計を集計し、把握。

※調査月：11月

※調査主体：米子市

※調査対象：自転車を含む中学生以上の歩行者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 四日市町大型店舗再活用事業（株SKY）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	空き店舗となっている旧書店ビルを商業活性化の拠点として再生し、新しい商業者の集積と新たな客層を呼び込むための施設整備 【1階】1店舗、【2階】2店舗、【3階】2店舗、事務所、【4階】多目的スペースを設置
事業効果又は進捗状況	若者向けの出店が続いている四日市町エリアで、核となる施設として周辺店舗との連携を図り、にぎわいの創出に繋がっている。

② 法勝寺町商業環境整備事業（株法勝寺町）

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	老朽化したアーケードを撤去し、下水道整備の後に、花や緑の演出、石像、ベンチ、フットライト、街路灯などを備えるコミュニティ道路(L=130m)の整備
事業効果又は進捗状況	アーケードを撤去し、陽のあたる新しいまちになったことから、空き店舗の活用、新規出店等の動きが出てきている。

③ 三連蔵ショップ&ギャラリー事業（株法勝寺町）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	よりみち通り沿いの築120年の蔵を改修し、物販、ギャラリー等を設置するテナントミックス事業 ・3つに仕切られた蔵を改修し、【1階】3店舗、【2階】2店舗、多目的スペースを設置

事業効果又は進捗状況	こだわりの飲食店や日替わり食堂等が人気を呼び、まちなかの回遊性の向上に寄与している。	
④ 鳥取大学医学部まちなかサテライトキャンパス事業（鳥取大学医学部、米子市、中心市街地活性化協議会）		
事業完了時期	【未】平成 25 年度	
事業概要	鳥取大学医学部のサテライトキャンパスをにぎわいトライアングルゾーンに設置することで、学生をまちなかに誘引し、中心市街地のにぎわい創出を図る。	
事業効果又は進捗状況	事業の進展がなく、事業が中止状態である。	
⑤ にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）		
事業完了時期	【実施中】平成 17 年度～	
事業概要	空き店舗へ出店する事業者到店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。	
事業効果又は進捗状況	・新規出店見込み数と実績数	
	エリア名	見込み (H20～H25 年度)
	四日市町周辺	8 店舗
	法勝寺町・元町周辺	6 店舗
	角盤町周辺	2 店舗
	その他の地区	4 店舗
	合計	20 店舗
実績 (H20～H24 年度)	11 店舗	
13 店舗	10 店舗	13 店舗
47 店舗		
⑥ 図書館・美術館整備事業（米子市）		
事業完了時期	【実施中】平成 25 年度	
事業概要	老朽化・狭隘化した図書館、美術館の整備拡充 ・図書館増築(RC2 階 657 m ²)、多目的交流スペースの整備(延床面積 299 m ²) ・美術館増築・改修、図書館・美術館バリアフリー整備、旧二中校舎を撤去した後、創作広場を整備	
事業効果又は進捗状況	平成 23 年度基本設計・実施設計完了、平成 24 年度 5 月工事着工、平成 25 年 8 月完成予定	
⑦ 地域情報発信拠点施設運営事業（喜八プロジェクト）(NPO 法人喜八プロジェクト等)		
事業完了時期	【済】平成 21 年度	
事業概要	旧銀行の空店舗を活用してコミュニティ FM、レストラン、物販スペース、ミュージアムスペース等で構成する複合商業施設の整備 ・地域コミュニティ FM、カフェ、ショップ 4 店舗、ミュージアムスペース、イベントスペースの設置	
事業効果又は進捗状況	コミュニティ FM の開局、イベントスペースを活用した短編映画イベントの定期開催、近隣のライブハウスとの相乗効果などにより、若者を中心としたにぎわいが広がってきている。	
⑧ 【追加】公会堂改修事業（米子市）		
事業完了時期	【実施中】平成 25 年度	

事業概要	中心市街地のランドマークとして市民に親しまれてきた公会堂を、今後も永く市民活動の拠点となるよう整備するとともに、にぎわいを生み出す拠点とする。 公会堂ホール棟及び楽屋棟の耐震改修 全館の劣化改修、内外装改修及び整備改修等
事業効果又は進捗状況	平成 23 年度基本設計、平成 24 年度実施設計・工事着手、平成 26 年 3 月完成

⑨ 【追加】元町通り商業環境整備事業（元町通り商店街振興組合）

事業完了時期	【済】平成 24 年度
事業概要	下水道、コミュニティ道路(L=254.6m)、パティオ広場の整備
事業効果又は進捗状況	アーケードを撤去し、路面等整備が行われたことにより、空き店舗の活用、新規出店、イベント数の増加など、動きが出てきている。

⑩ 【追加】鳥取環境大学西部サテライトキャンパス連携活用事業（鳥取環境大学、米子市、中心市街地活性化協議会）

事業完了時期	【済】平成 23 年度
事業概要	にぎわいトライアングルゾーン内に鳥取環境大学のサテライトキャンパスを設置し、周辺施設との連携により、中心市街地のにぎわいを創出する事業
事業効果又は進捗状況	平成 24 年 4 月サテライトキャンパス開設(市民公開講座全 13 回開催)

⑪ 【追加】アルファビル再活用事業（㈱アルファオフィス）

事業完了時期	【済】平成 24 年度
事業概要	空きビルを利用し、コンテンツのクリエイティブ産業化の促進を図る商業拠点施設を整備する事業
事業効果又は進捗状況	平成 24 年 10 月完成、出店店舗(10 店)。新たな商業空間の創出とそれに伴う「新たな交流人口と賑わい創り」を目指す。

⑫ 【追加】中心市街地の情報発信拠点施設整備事業（中海テレビ放送センタービル）（中海テレビ放送）

事業完了時期	【実施中】平成 23 年度～
事業概要	中海テレビ放送センタービル内に角盤スタジオを設置し、市民参加型メディアとして公開収録や生放送で情報発信する事業
事業効果又は進捗状況	情報発信の放送にとどまらず、テゴネット(鳥取県西部広域交流ネットワーク)と連携し、「地域ふれあいフェスタ」をビル前庭で開催している。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

“にぎわいトライアングルゾーン”内では、平成 22 年 3 月に 3 つのにぎわい拠点施設が一斉に完成した。

平成 22 年度から平成 24 年度にかけては、「法勝寺町商業環境整備事業」「元町通り商業環境整備事業」によりアーケードが撤去され、コミュニティ道路として整備されるなど、基本計画掲載事業の取組は順調に進捗している。

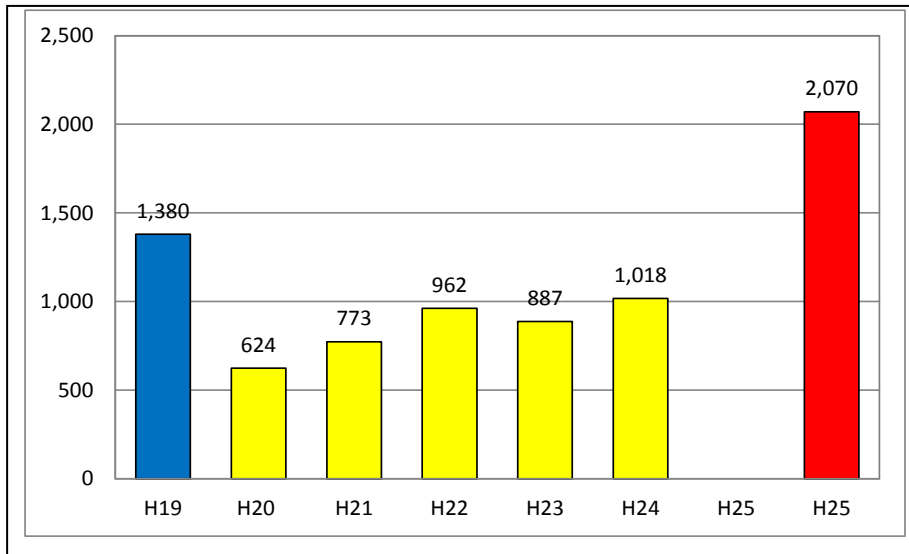
また、“にぎわいトライアングルゾーン”の一角である、角盤町エリアには、平成 23 年度に中海テレビ放送角盤スタジオ開設後、鳥取環境大学サテライトキャンパスが開設され、さらには、空き店舗を活用しポップカルチャー関連のテナントが入店する「アルファビル」が完成し、デジタルコンテンツの人材育成を行う「デジタルハリウッド」の進出につなげることができた。これらの取組みにより、JR 米子駅周辺～元町～法勝寺町～四日市町～角盤町といったつながりが強化された。

今後の対策としては、行政においては、「図書館・美術館整備事業」が完成することで、民間においては、笑い通り商店街エリアの商業環境整備事業や拠点施設の整備が検討されており、官民のそれぞれの特色を活かしたにぎわいの連携により、新たな回遊性を創出していく。

Ⅱ. 「歴史や文化、自然に触れ合えるまちをつくる」

「下町観光ガイドの利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P65～P66 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H19	1,380 (基準年値)
H20	624
H21	773
H22	962
H23	887
H24	1,018
H25	
H25	2,070 (目標値)

※調査方法：毎年1月に米子市観光協会がとりまとめている利用者数を集計し、把握。

※調査月：毎年1月～12月

※調査主体：米子市

※調査対象：下町観光ガイド利用者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成25年度
事業概要	歴史的景観の保全・継承、住環境の向上を図る。 まちかど広場整備 1,611 m ² 、道路美装化 423m、 遊歩道整備 464m、案内施設整備 4基
事業効果又は進捗状況	まちかど広場の完成(H24年度) 建築物の修景助成 42件(H24年度末)

②. 史跡米子城跡整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成20～34年度(1期事業は、平成20～24年度)
事業概要	国史跡「米子城跡」周辺の民有地を公有地にするとともに、米子城跡の史跡公園として整備する。 ・登山道、案内板の整備 ・内堀遺構等史跡の保存、復元整備
事業効果又は進捗状況	平成20年度に史跡米子城跡整備計画基本構想を策定した。主要部分である湊山球場敷地の利活用の方向性が定まらず休止状態であったが、平成23年6月に史跡公園整備の方針が示され、今後、文化庁等との協議を経て整備方針を決定し、事業着手へと進めていく。

③. 下町観光ガイド（市民ボランティア）

事業完了時期	【実施中】平成13年度～
--------	--------------

事業概要	地元ボランティアガイドによる下町の観光案内、モデルコースは4コース(平成22年8月から1コースが休止となっていたが、平成24年7月から再開した。)
事業効果又は進捗状況	ガイド登録者16名、平成24年中の利用者数1,018人

④ 加茂川・中海遊覧の運航(笑い通り商店街振興組合)

事業完了時期	【実施中】平成13年度
事業概要	旧加茂川から中海、新加茂川を巡る小型遊覧船の運航 ・1日2便、往復約40分、定員10名
事業効果又は進捗状況	平成14年から運航を始めて、平成21年10月には累計乗客数1万人を突破し、近年は約1900人/年で推移している。

⑤ 【追加】地域の魅力再発見事業(米子市)

事業完了時期	【実施中】平成24年度～
事業概要	中心市街地のあまり知られていない名所などを市民が実際に散策、探訪、体験する事業
事業効果又は進捗状況	まちなかに眠っている魅力を再認識、再発見することによって、参加者がまちなかに興味を持つとともに、口コミによるPRを図る。

⑥ 【追加】中心市街地活性化情報発信事業(米子市)

事業完了時期	【実施中】平成24年度～
事業概要	地元ブロガーを活用して、季節ごとにまちなかの魅力の情報発信を行うとともに、市ホームページに中心市街地活性化情報発信コーナーを設け、まちなかの賑わいの様子やイベント情報など様々な情報発信を行っていく。
事業効果又は進捗状況	様々な視点で眺めたまちなかの情報発信が可能であり、地域内外に向けて広がりのある情報発信が期待できる。 ・ブロガーを活用したモニターツアーの開催(3回) ・まちなか特派員として任命を行ったブロガー(6名)

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

平成24年度は、「旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業」によるまちかど広場の整備が完了するとともに、下町の建築物の修景助成を行った。また、地元ブロガーを活用し、広報等では伝えきれない様々なまちなかの情報発信に取り組んでいる。

引き続き、歩道のバリアフリー化の推進やまちの案内看板の設置などに取り組み、まちなかの来訪者が快適でスムーズに移動できる環境の整備を進めている。

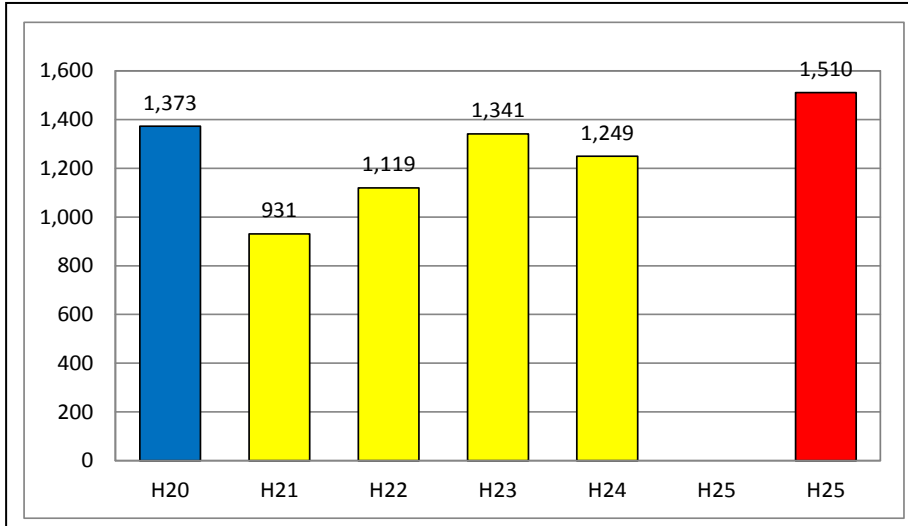
これらの取り組みとともに、平成24年度は、下町観光ガイドコースが大手旅行会社の「城巡りツアー」に組み込まれたこともあり、ガイドの利用者数が1,000人を越えたが、依然として目標達成可能とは見込まれない状況となっている。

今後の対策としては、新たなコースの試行・増設や情報発信の強化、まちづくり団体や下町ガイドとの連携を図り、まちなかの来訪者の増加に結び付けていく。

Ⅱ. 「歴史や文化、自然に触れ合えるまちをつくる」

「湊山公園の入場者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P65～P66 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H20	1,373 (基準年値)
H21	931
H22	1,119
H23	1,341
H24	1,249
H25	
H25	1,510 (目標値)

※調査方法：6月の平日、休日の2日間実施。調査地点7地点において、調査時間を6時から19時30分までとし、毎時30分間計測。指標となるのは、休日の入場者数を集計して、把握。

※調査月：6月

※調査主体：米子市

※調査対象：自動車に乗車する人を含めた全ての入場者数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①【未】史跡米子城跡整備事業（米子市）「【再掲 P7 参照】」
- ②【実施中】下町観光ガイド（市民ボランティア）「【再掲 P7 参照】」
- ③【追加】地域の魅力再発見事業（米子市）「【再掲 P8 参照】」
- ④【追加】中心市街地活性化情報発信事業（米子市）「【再掲 P8 参照】」
- ⑤【追加】もっと知りたい米子城事業（米子市）

事業完了時期	【済】平成24年度
事業概要	米子城周辺の歴史について、米子城の探訪、講座、講演会等を開催する。
事業効果又は進捗状況	米子城探訪会5月、6月、9月、11月に実施。講座・講演会8月に3回、9月に3回、10月に3回実施。

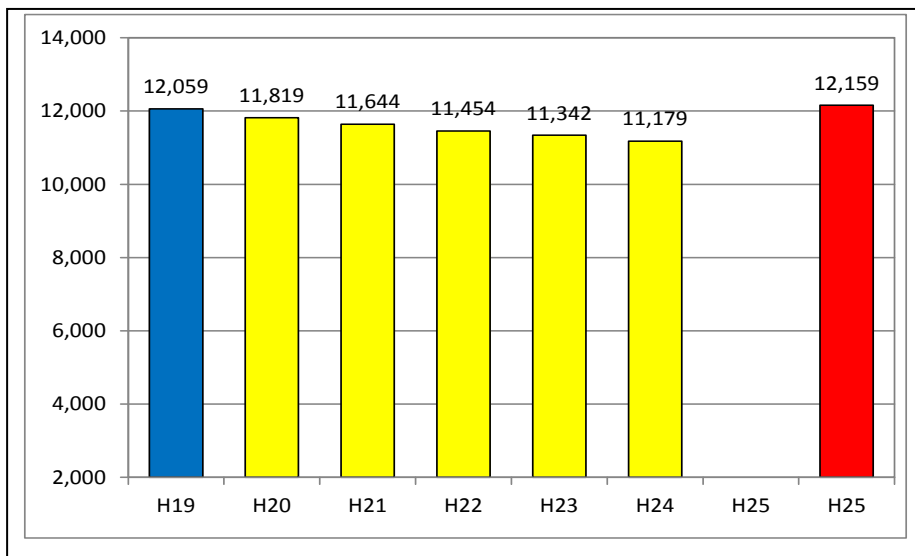
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

主要な事業である「史跡米子城跡整備事業」の着工が遅れているが、歩道のバリアフリー化の推進、彫刻ロードやまちの案内板設置、米子城の探訪、講座・講演会の開催、ブロガーによる情報発信等に組んでいる。目標数値は前年度と比べて、微量ながら減少しているが、全体的に改善の兆しが見えつつあるため、今後、ブロガー数の拡充、公園内の核となる米子城跡の魅力をもっと多くの人に体験してもらう取り組みを充実していくことで、目標達成は可能と見込まれるため、引き続き最大限努力していく。

II. 「住みたくなるまちをつくる」

「居住人口」※目標設定の考え方基本計画 P71 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H19	12,059 (基準年値)
H20	11,819
H21	11,644
H22	11,454
H23	11,342
H24	11,179
H25	
H25	12,159 (目標値)

※調査方法：毎年4月1日現在における中心市街地区域の人口を住民基本台帳から集計し、把握。

※調査月：平成24年4月

※調査主体：米子市

※調査対象：中心市街地区域内

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①民間マンション建設（㈱穴吹工務店）

事業完了時期	【済】平成20年度
事業概要	民間事業者による高層集合住宅建設(1棟)
事業効果又は進捗状況	平成21年3月1棟65戸が完成、入居率は9割を超える。

②介護サービス付共同住宅事業（㈱あるまち、㈱ミシマ）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～平成25年度
事業概要	民間事業者による介護サービス付の共同住宅の開発と運営
事業効果又は進捗状況	平成22年1月「にしくらの家」(5戸)、平成22年3月「ココ灘町」(27戸)が完成 「住み慣れた地域で最後まで暮らせるまちづくり」の実現のため、郊外施設への入居を望まない方の住居を確保した。

③まちなかすまいるデータバンク（米子市、NPO法人まちなかこもんず等）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	まちなか居住に適した中古住宅物件情報の収集、管理、発信
事業効果又は進捗状況	市場に出ていない空家物件を掘り起こし、既存の不動産情報と一元的な情報データベースを構築し、インターネットへ情報発信することによって、まちなかの住宅物件の供給とニーズへの対応を強化し、居住人口の増加を図る。

④まちなか居住支援事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成 22 年度～平成 25 年度
事業概要	中心市街地に住宅を取得して市外から移住する世帯に対し、建物の固定資産税相当額を一定期間助成する制度
事業効果又は進捗状況	平成 22 年 4 月から実施、平成 23 年度 7 件、平成 24 年度 11 件(うち新規 4 件)

⑤ やらいや米子・平成ルネッサンス事業（こうやまち番号館）（株式会社まちなか米子番号館）

事業完了時期	【済】平成 22 年度
事業概要	低未利用地を活用した民間事業者による高齢者専用賃貸住宅を核とした複合施設の建設 ・RC 造 6 階建て、延床面積 3,232 m ² 、高齢者専用賃貸住宅 74 戸、小規模多機能型居宅介護支援センター等を併設
事業効果又は進捗状況	平成 23 年 5 月完成、入居率は 9 割。

⑥ 【追加】いきいきケアホーム灘町事業（㈲ラポール・ケア米子）

事業完了時期	【済】平成 23 年度
事業概要	民間事業者によるサービス付き高齢者向け住宅を核とした複合施設の建設 ・鉄骨造 3 階建て、延床面積 2,486 m ² 、サービス付き高齢者向け住宅 65 戸、訪問介護、看護ステーション等を併設
事業効果又は進捗状況	平成 24 年 4 月完成、入居率は 5 割を超えている。

⑦ 【追加】 やらいや米子・平成ルネッサンス事業（サービス付き高齢者向け住宅まちなか）

事業完了時期	【実施中】平成 24～25 年度
事業概要	民間事業者によるサービス付き高齢者向け住宅を核とした複合施設の建設 ・RC 造 5 階建て、延床面積 2313.46 m ² 、高齢者専用賃貸住宅 57 戸、通所介護事業所を併設
事業効果又は進捗状況	平成 24 年度から着工、平成 25 年 12 月に完成予定

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地においては、民間マンション建設、介護サービス付共同住宅や高齢者専用賃貸住宅の建設、中心市街地に住む高齢者への「夕食配達サービス」、県の生活共同組合と連携し日用品や食品を配達する「ミニココステーション」、家事等を代行する「まちなかサービス」など、まちなかに暮らす高齢者が住みやすい環境づくりを進めている。

目標値の計測日が年度当初の4月1日に設定しており、今年度に行ったフォローアップの結果は数値に反映されていないが、目標達成可能とは見込まれない状況となっている。

今後の対策としては、平成 25 年度には新たに「高齢者専用賃貸住宅」が完成するなど、まちなか居住の推進に向けた継続的な動きがあることから、引き続き住みやすい環境づくりに最大限努力する。